

此花区

ごみゼロ



リ-ダー

ニュース

第4号

平成28年 5月発行

「大阪ごみ減量市民交流会」

平成28年2月17日（水）に開催しました。



大阪府下各市町村の廃棄物減量等推進員・地域住民、市民団体、事業者、市町村ごみ減量担当職員、3R・低炭素社会検定合格者などが約80名集まり、意見交換等を通じて、地域でのごみ減量・3Rの取組みをより一層進めていくことを目的として、大阪ごみ減量推進会議の主催による「大阪ごみ減量市民交流会」が、2月17日（水）に、大阪駅前第3ビルにあります大阪産業大学梅田サテライトキャンパスにて開催されました。

第1部の事例発表では、事例1として橋本市衛生自治会の「生ごみの堆肥化とごみ減量の取組み」を、事例2として「吹田市における廃棄物減量等推進員の活動」を発表していただきました。

第2部の交流会では、他都市や他の地域の方々と様々な意見・情報交換がなされ、大変充実した交流会になりました。



第1部



第2部



「地球環境とエコを知る流れ見学会」

此花区・福島区合同 廃棄物減量等推進員 実地研修会

平成28年
3/15(火)
開催

廃棄物減量等推進員の皆様方に、さらなるごみ減量などに向けて「地球環境とエコを知る流れ見学会」と称して3月15日(火)に此花区の夢洲にあります“北港処分地”および舞洲にある“舞洲工場”に見学に行きました。

今年度は此花区と福島区の2区合同開催となり、他の地域の推進員の方との情報交換もなされ、とても有意義な見学会になっていたようでした。

まず、北港処分地で焼却灰などの搬入の様子や、ソーラーパネルなどのエコに関する施設を見学した後、舞洲工場では焼却され灰になるまでの工程や、焼却の際に発生する余熱の利用など、職員の方の説明に真剣に聞き入っていました。

以前も報告させていただきましたが、大阪市のごみ処理量は、皆様方の協力もあり着実に減少してきています。



舞洲工場の玄関前にて



今回見ていただいた北港処分地は大阪市内にある唯一の処分地で、広さは73万㎡(甲子園球場19個分)もありますが、いつまで使用できるかわかりません。今後も推進員の皆様方の更なるご協力をよろしくお願いいたします。

← 独創的なこの建物のデザインは
フランスの芸術家によるもの。
煙突の高さは、なんと120m!

《編集・発行》

大阪市西北環境事業センター

大阪市西淀川区大和田2-5-66

TEL:06-6477-1621 FAX:06-6477-4602

<http://www.city.osaka.lg.jp/kankyo/index.html>

